

日頃の活動から考えること・・・

元町へ転入してくる一人暮らしの高齢者の支援について

～元町で生き生きと暮すために

民生委員の「すこやか倶楽部等紹介」から訪問に至った事例

《事例》

78歳 女性 介護認定未申請

日常生活：自立 健康状態：高血圧症で服薬し安定

他市から昨年10月に転居し、オートロック式マンションに住む

家族状況：夫は3年前に他界 長女は道外 次女が東区

転居までの生活

長く住み慣れた他市で、コーラス・社交ダンスを楽しんでいた

介護予防教室（縄ばしご体操、物作り等）にも参加していた

転居後の生活

近くのスーパーへ買物、通院等、歩いて10分以内の外出をしている

遠出は次女の手

地下鉄は一人では乗っていない（次女又は友人と一緒に乗る）

～経過～

H20年1月（転入3ヶ月後） 電話

ご本人から当センターへ1月転倒予防教室参加を希望

対応）1月は教室中止、2月からの参加を勧奨

詳細について説明する為、後日訪問を約束する

2日後 訪問

○アセスメント（情報収集）

○当センター事業の説明、参加会館の選定

○簡単に地域の説明

○生活機能チェックリストを実施

※本人の意向

外出の機会をつくりたい

コーラス・ダンス等、できることは続けたい

対応）2月すこやか倶楽部・転倒予防教室の参加

老人クラブや地域のサークルをその時に紹介する

～訪問後の支援～

生活機能チェック結果 「特定高齢者候補」に該当

→第2地域包括支援センターへ相談

（結果）転入後間もないので外出や心の状態でチェックが多かった

と思われるので、2月教室参加やサークル紹介等行い、

ご本人の意向を確認した上で、包括の支援対象として検討

転入独居高齢者支援は民生委員さんの面接が第一歩！ →

地域に馴染み安心した生活を送っていただく為に →

支援を継続する為に →

★「生活機能チェックリスト」は特定高齢者の選定に使用されています